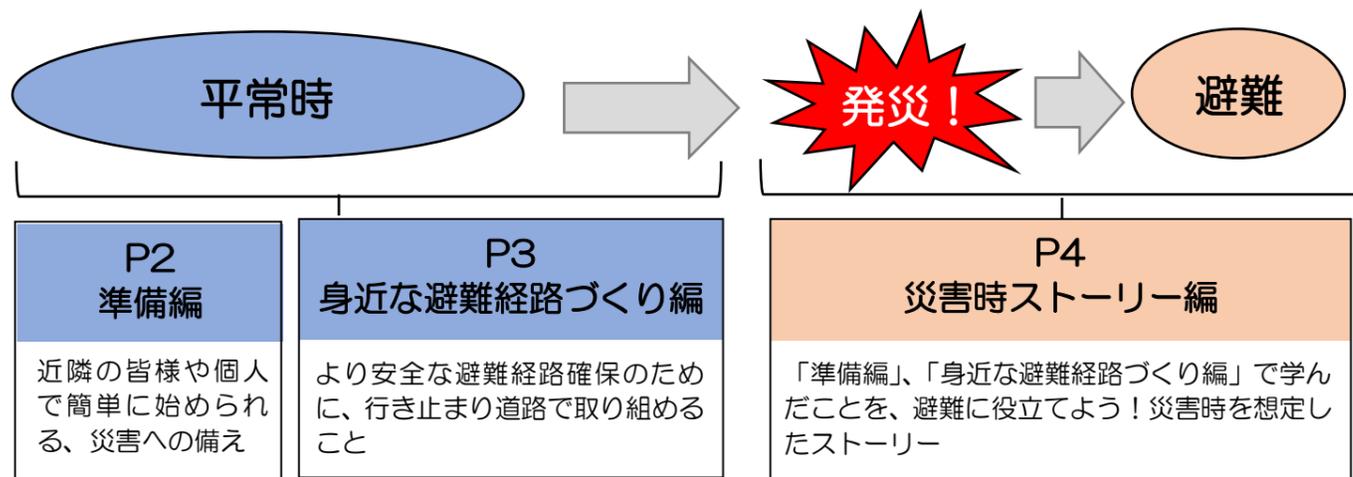


このガイドブックの活用方法

■ ガイドブックで調べよう

「準備編」、「身近な避難経路づくり編」で災害が起きる前に考えたいことを調べましょう。「災害時ストーリー編」では、平常時の備えが災害時にどのように役立つか、ご説明します。



◎ 準備編 ～災害時の避難のために、すぐに始められること～



災害時に備え、こういった準備や心構えが必要なのでしょうか。「近隣の皆様でできること」、「個人でできること」を解説します。

近隣の皆様でできること

① 災害時にどこを通過して逃げるか、確認しておこう！

- 安全に避難できるルートを、家族や近隣の人たちと確認しておきましょう。建物のすきまなど、意外な避難経路が見つかるかもしれません。



② 緊急一時避難所を確認しておこう！

- 家族や近隣の人たちと一緒に、避難直後に集まる場所（緊急一時避難所）を確認しておきましょう。



個人でできること

③ 庭や隣の家との間は、避難路として使えるよう、キレイにしておこう！

- 普段は通らない庭や建物間のすきまも、災害時には避難経路となる可能性があります。大きな物を置かないようにし、きれいにしておきましょう。



◎ 身近な避難経路づくり編 ～より安全な避難に向けた取り組み方～



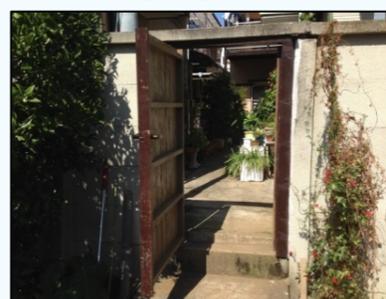
避難経路をしっかりと確保するために、どのような方法が考えられるのでしょうか。行き止まり道路周辺にお住まいの皆様に、2つの取り組み方をご紹介します。

ご自宅の庭を、あと一步で避難経路にできそうな方へ

① 木戸を設置して、緊急時に庭を通れるようにする

- 塀などでふさがっているところに木戸などを設け、緊急時に開けられるようにすると、万が一の時に庭先から避難できます。

【緊急時に開けられる木戸などの例】



木戸を開ければ、庭を通過して避難できるように！



蹴破れるようになっている。「非常口」の表示つき！

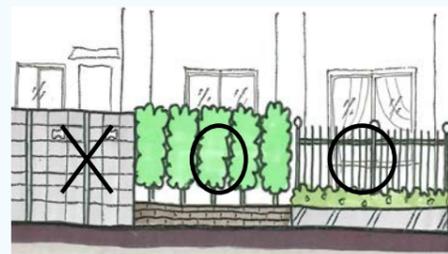


ステップを設けて、段差にも対応！

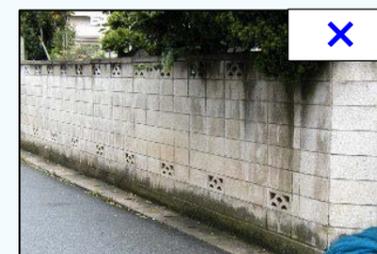
古いブロック塀の取り替えを検討されている方へ

② ブロック塀を生垣に変える（高さを低くする）

- 塀を新しくする際に、ブロック塀でなく生垣にすると、塀の倒壊がなくなります。もしくは、ブロック塀の高さをできるだけ低く抑えることで、塀の倒壊を防ぎ、避難経路を守ります。



高いブロック塀よりも、低い塀や生垣、柵などの方が安全



高いブロック塀が倒壊すると、道をふさいでしまう危険が！



下部は低いブロック塀。上部は生垣に！



低い柵やフェンスにするのも有効！